

しろはく活動記録

# 古地図と城の泉 第62号

## 浅草精行社細密銅版鳥瞰図の世界 熊本城南面図 木版版本

平成30年6月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

### 城郭現地調査報告及び資料調査 博物館事業報告

#### 1・明治東京浅草精行社細密銅版鳥瞰図の世界

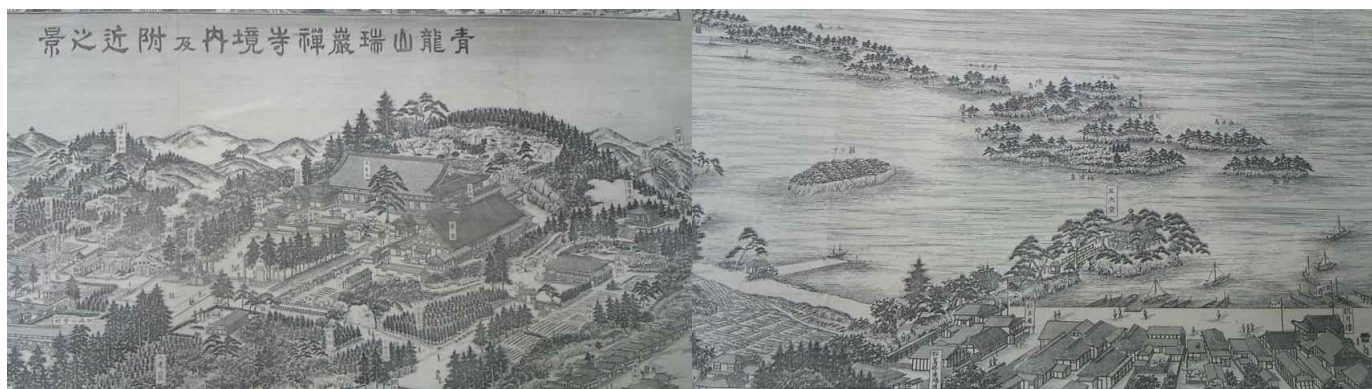
日本の古本屋ネットに会津土産という商家細密鳥瞰図掲載の地図を紹介したところ、お求めいただいた研究家の方に大変歓迎していただき、その研究成果である精行社の著作リストをいただいた。大いに刺激されるとともに感激した。それは印刷技術、特に明治の銅版鳥瞰図の印刷技術を評価されているからで、これまでの銅版印刷史は導入経緯や作者この場合は作家に注目が集まり、印刷技術者や印刷会社に注目が集まることはなかった。従って、これらの明治細密鳥瞰図の評価は私達地図コレクターと一部の博物館学芸員さんにとどまっていた。それが、印刷技術者や印刷会社の研究をされているということで驚いた。

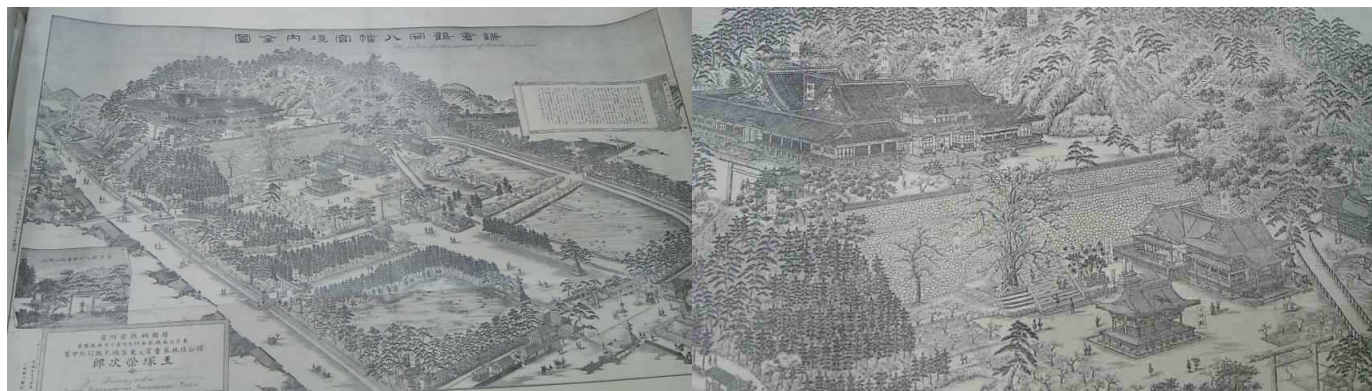
大日本帝国東京金龍山浅草寺之図





陸前松嶋諸島瑞巖寺全図





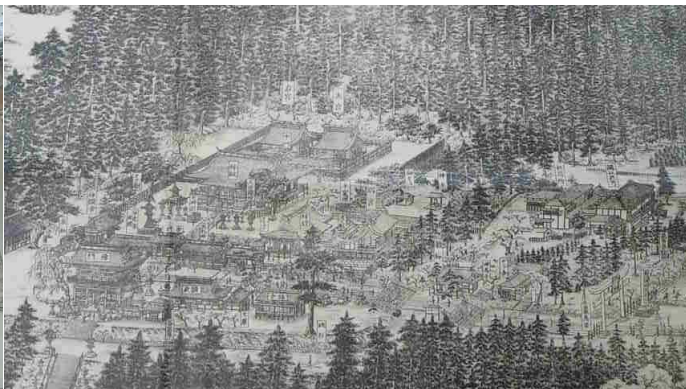
鎌倉鶴岡八幡宮境内全図



大日本東京芝三縁山増上寺境内全図

### 印刷技術特に明治銅版印刷技術の成果

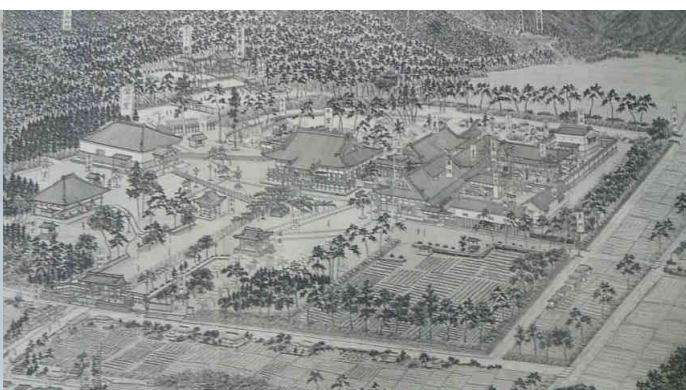
江戸後期から司馬江漢や亞欧堂田善がもたらせた銅版技術、幕末から明治にかけて木版に変わり隆盛を極め、やがて明治中期以降に石版、さらにオフセット印刷に代わる、この間カップ刷やコロタイプが一部の分野で高い評価を受けるが、主な流れは木版、銅版、石版、オフセットと言えよう。ただ、これまでこれらは印刷技術としてより、作品として評価され、作家が歴史とされてきた。印刷業界で40数年お世話になり、特に、木版の現在技術である、金属版、樹脂凸版、さらにフレキソ版、銅版の現代技術であるグラビアとのお付き合いは永い。フレキソ技術協会やグラビア印刷工業会、日本印刷学会グラビア研究会にもお世話になった。このようにして、幕末、mmあたり5本という錦絵の木版再現技術、それはインチ125線という高品質である。今でこそ高細線とは言わないが、一昔前の標準的なオフセット再現技術を実現したのが幕末の木版であった。この木版の緻密な再現を凌駕したのが銅版技術であり、その出現は同じ内容の情報はるかに小さな面積での表現を可能にし、考えられないような写真のような連続諧調に近い絵柄再現を可能にして、石版による銅版転写石版が現れるまでの明治30年頃までの印刷業界を席卷した。銅版が実現した一部は高精細な細密鳥瞰図による風景や寺院、名所旧跡の再現であった。これらはいずれ初三郎のオフセットによる鳥瞰図に飲み込まれるが、一時代を構築した銅版鳥瞰図の世界は十分評価に値する。これまで銅版に対する評価は絵柄、構図に対する評価であり、美術品としての評価だった。ところが、うれしいことに印刷技術としての、印刷会社に興味を持っておられる方がおられた。これまで銅版細密鳥瞰図は小生を含めてごく一部の古地図コレクターの世界でしかなかった。敬意を表して、地域別に整理された古地図から明治細密銅版鳥瞰図、特に東京浅草精行社の作品を集めてみた。精行社以外にも数十枚の作品を集めた、印刷会社さんの系譜や銅版技術者の系譜を明らかにするまでには至らなかった。ただ、ほとんど片隅に一文字1ミリ程度に記された情報がこれまで注目されることはなかった。紙上初のトライアルである。



陸前国塩竈神社境内図附松嶋及附近名所



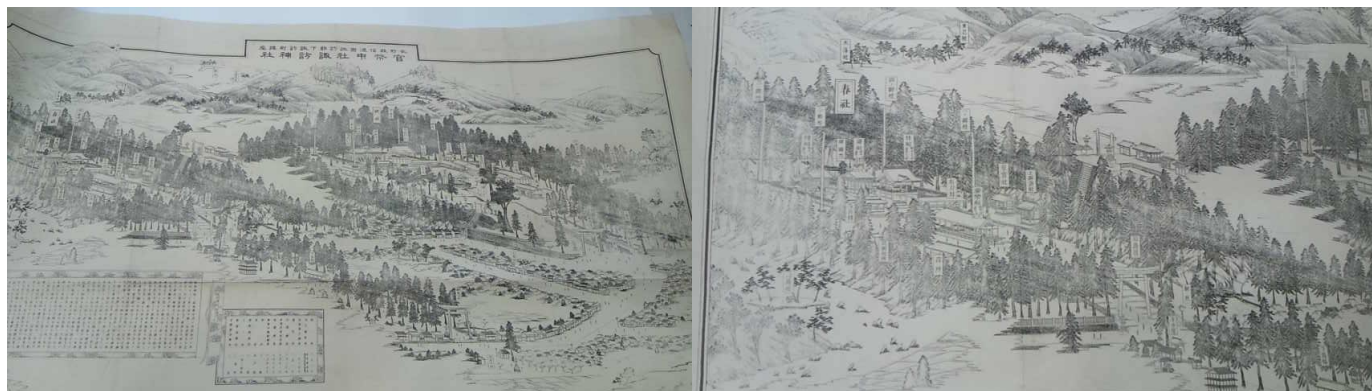
大日本帝国淡海国多賀神社全図



上野国新田郡大田義重山新田寺大光院境内全図



大日本甲斐国日蓮宗総本山身延久遠寺全図



長野県信濃国諏訪郡下諏訪町鎮座官幣中社諏訪神社

## 東京浅草茅町精行舎銅版部製 細密銅版鳥瞰図

1・下総国宗吾靈堂境内全図 明治27年2月 東涛舎巴凌写 小川照然画作 山崎芳翠謹刻 39 x 54 cm 2・大日本帝国東京金龍山浅草寺之図 明治31年初秋 東涛舎巴凌写 小林桃山刻 玉塚栄次郎銅版寄附 52 x 74 cm 左右欄外切 3・大日本東京芝三縁山増上寺境内全図 明治34年 東涛舎巴凌写 小林桃山刻 玉塚栄次郎銅版寄附 62 x 80 cm 袋付 4・千葉県上総国夷隅郡東海村若山藍野貞助邸宅之図 芳雄図 22 x 32 cm 5・鎌倉鶴岡八幡宮境内全図 明治32年 東涛舎巴凌写 小林桃山刻 玉塚栄次郎銅版寄附 54 x 77 cm 袋付 6・陸前国塩竈神社境内図附松嶋及附近名所 明治33年 玉塚栄次郎銅版寄附 62 x 82 cm 袋付 7・陸前松嶋諸島瑞巖禅寺全図 明治33年 東涛舎巴凌写 玉塚栄次郎銅版寄附 61 x 78 cm 袋付 8・大日本甲斐国日蓮宗総本山身延久遠寺全図 明治36年 東涛舎巴凌写 小林桃山刻 玉塚栄次郎銅版寄附 54 x 77 cm 袋付 9・上野国新田郡大田義重山新田寺大光院境内全図 明治23年 東涛舎巴凌写 村山樸山刻 36 x 50 cm 10・長野県信濃国諏訪郡下諏訪町鎮座官幣中社諏訪神社 刊記無 袋付 袋に東京精行社印行とあり 45 x 79 cm 11・大日本帝国淡海国多賀神社全図 明治28年 東涛舎巴凌写 皆川欽太郎刻 袋付・略記有 39 x 70 cm

其の後の印刷会社、印刷技術者から見た細密銅版鳥瞰図 作家、発行社は記入されても印刷会社の記録は少ない、さらに彫刻技術者はまれである。販売目録にも記されることはない、今回は精行社とのかかわりを探るためあえて微細記録を探し出した。このような記録はこれまで皆無と思われる。まったく情報のない細密銅版鳥瞰図は省いた。ただ、フィルムに入れたまま観察しているため、一部銅版転写石版が混在の可能性あり。印刷会社、彫刻技術者、題名のみである。

四方春翠 談山神社 日新堂刻・龍玉堂刻

浪華幽泉堂銅鑄 明治29年 小楠公別格官幣社四条畷神社

牧野儀三郎 明治22年 高野山略図

三浦久吉印刷 明治25年 高野山現今実細全図

大阪田村賛成堂銅版部 紀伊国和歌浦真景 刊記無

大谷派本願寺両堂及境内全図 明治22年 梅山市三

池田光輝堂銅刻 明治25年 摂津国坐官幣大社住吉神社之図改正版 明治16年の初版には記載がない。

竹生島巖金山宝巖寺之景 明治30年

皆川欽太郎彫刻 明治28年 東涛舎巴凌写 洛東銀閣寺之真景 京都市都華社石版部印行

有 画並鑄 京極春栄堂銅版製造 四天王大護国寺伽藍略図

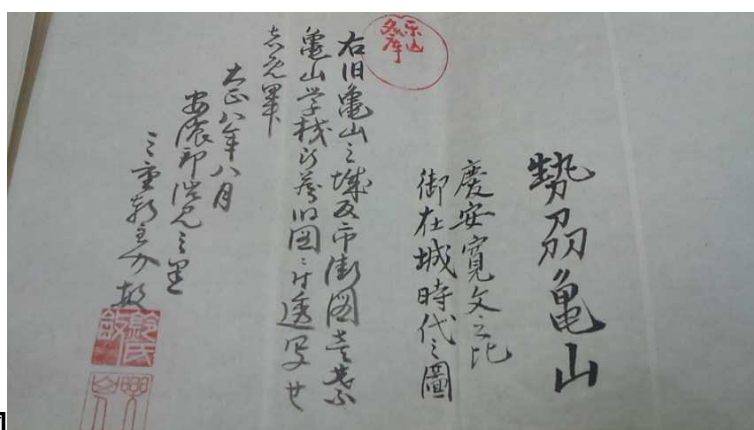
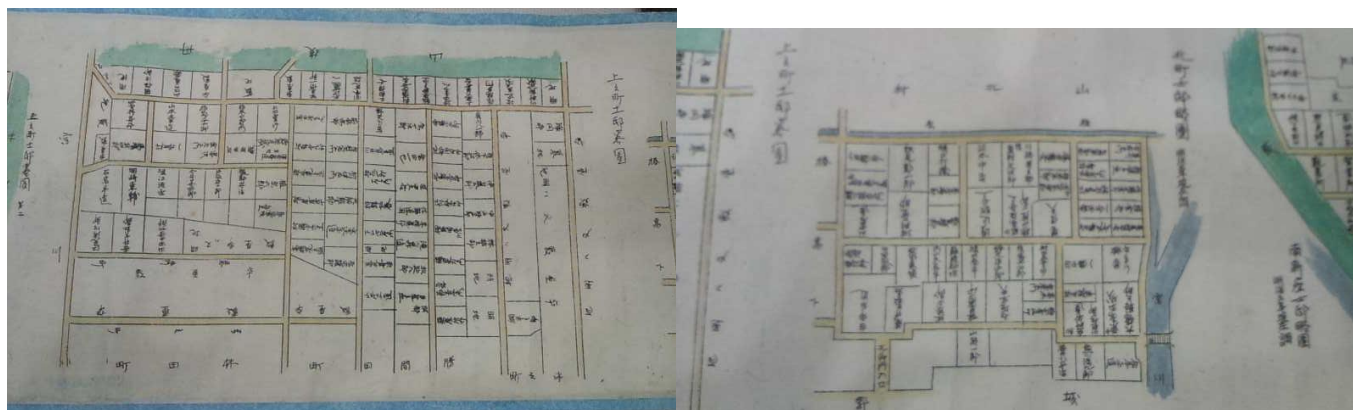
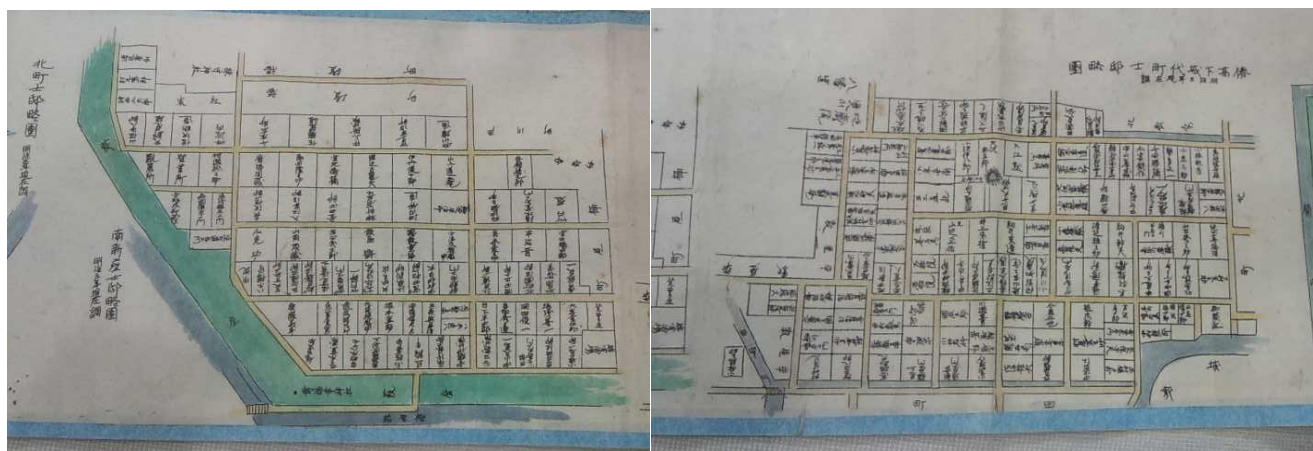
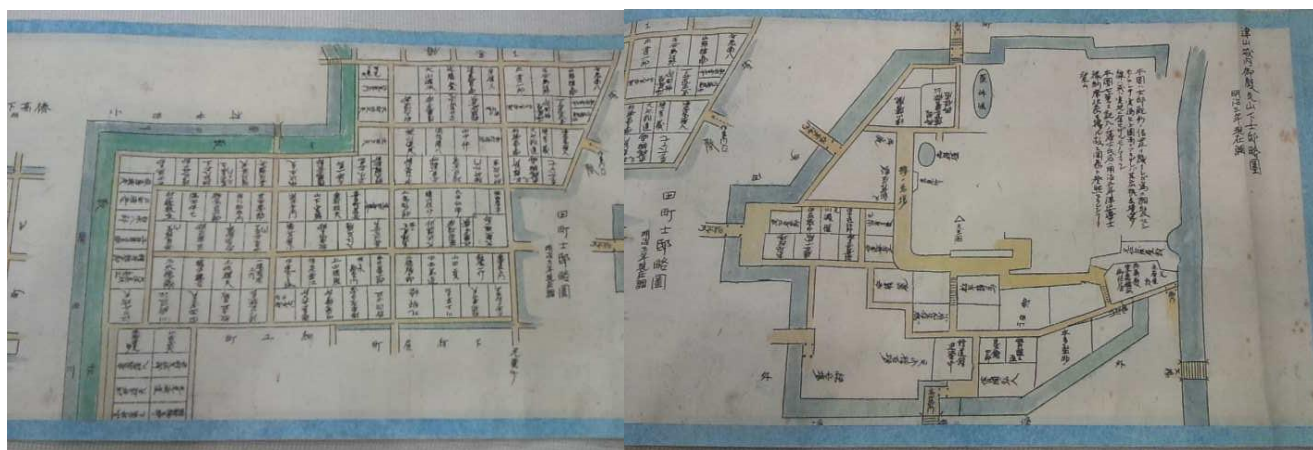
善光寺境内並長野市街図 吉祥院施版

中村信太郎印刷 明治24年 信濃国上田全図  
和田利八印刷 明治42年 小坂鉦山全図  
愛生堂棚橋久吉印刷 明治41年 尾張国知多郡内海海水浴真景之図  
岸原金五郎印刷 明治34年 官幣中社宮崎宮境内之図 石版か  
**大阪田中昇竜堂製版部** 摂津紫雲山中山寺伽藍修理予定見取図  
川越玉印刷 明治32年 出雲大社並国造館之図 長谷川貞信 明治41年版は印刷山根房太郎とあり、貞信の名は消されている。  
清水熊太郎印刷 明治24年 大和国法隆寺七堂伽藍真図  
大鳥幡山印刷 明治22年 京都伏見官幣大社稻荷神社細見図  
岸原金五郎印刷 明治35年 官幣中社大宰府神社境内之図  
向井源吉印刷 明治29年 伊勢朝熊岳勝峰山金剛證寺一覽図  
長谷川久美之助印刷 明治29年 豆州熱海改正全図 明治30年同  
渡辺清太郎印刷 明治37年 平泉中尊寺及五串之景  
井上寛一印刷 明治28年 高野山全景之図  
高木仙之助印刷 明治28年 皇国平安名所図  
**名古屋光彰館製版木杉重五郎彫刻** 四帝勅願所永光護国禅寺 刊記無  
名古屋光彰館製版 寢覚山臨川寺之景  
光彰館製版 明治36年 筑波神社之景  
青山豊太郎 明治23年 駿河国觀富士山龍華寺境内全図  
藤田又治郎 明治28年 駿河国大岩臨濟寺全景  
**日本社寺明鑑発行所晚晴館製版部** 甲斐国浄光寺鐙堂觀世音之景  
中村信太郎 明治25年 信州善光寺境内  
田村定助 明治23年 高野山全図・明治33年 高野山真景大全図・明治42年 高野山全図  
岩井清太郎 明治36年 奈良名所細見図  
**村上勘兵衛製造** 明治18年 京都府地理課 京都府管内全図  
**中川豊彫鑄** 明治17年 官幣大社鹿島神宮絵図  
光陽館松田宗次郎 明治36年 四条畷神社全景  
**細井松夫銅鑄** 明治16年 日光山名細図  
**小西惟賢銅刻** 明治22年 湯川松兵衛印刷 野州塩原温泉真図  
**清華堂銅版部彫刻** 明治28年 足尾銅山明細図  
平井力次郎印刷 明治32年 芝浦大光館真景  
井上茂兵衛印刷 明治36年 野州古峯原山図  
小梶幸三郎印刷 明治35年 箱根温泉真景全図  
井上弘雄印刷 明治26年 箱根温泉全図  
**銅鑄晴雲閣中村月嶺** 大山阿夫利神社下社新築図  
朝野利兵衛印刷 明治30年 香取神宮境内全図  
**第二彫刻会社慶岸堂銅製** 明治12年 横須賀港一覽絵図

こうしてみると、画題、作者、発行所、刊行年、販売所の情報は記されているが、印刷所は比較的少ない、銅版彫刻の技術者に到っては欄外にわずか1mm角で記入される等貢献に対する評価はほとんど見られない。これらは販売上不要であるためといえるが、印刷技術史の研究にはきわめて不都合である。目録上も半ば無価値な作業であるが、長年印刷業界でお世話になった御令とし

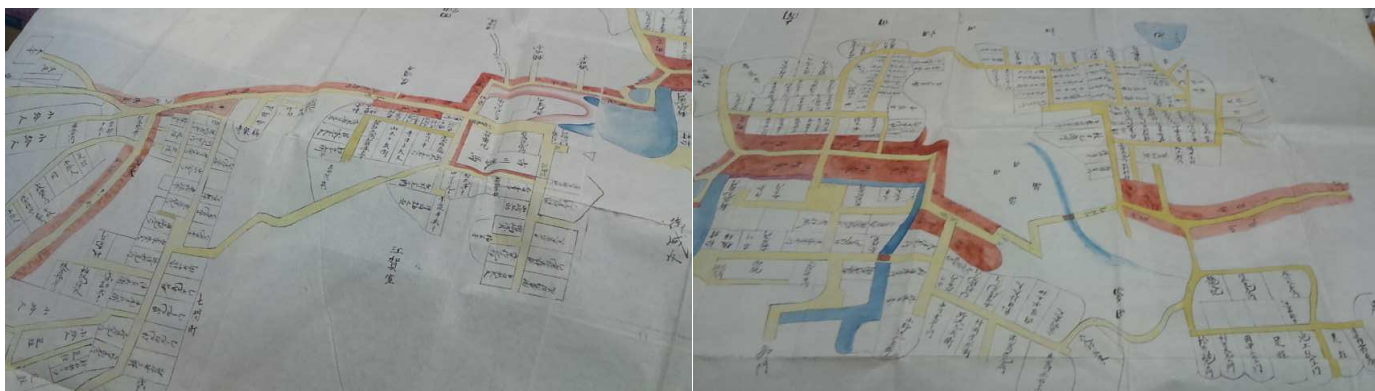
てグラビアの先行技術である銅版に敬意を表し作成した。これらをベースとして明治銅版印刷技術が解明できればと願っている。

## 2・津山城内略図・津山城内御殿及山下士邸略図 明治3年現在調 卷子



## 3・勢州亀山慶安寛文之比御在城時代之図

亀山之城及市街一葉、亀山学校所蔵旧図二付透写せし 大正8年



### 3・木版熊本城南面真景

絵図発見のさい、紹介しようとした熊本城南面真景の木版版木である。



#### 4・文化財支援事業

**若松城天守閣郷土博物館平成30年度企画展一八六八年の會津藩図録** 会津若松城下絵図屏風提供 戊辰戦争150年記念展で300頁に及ぶ大作。錦絵、屏風、古絵図、戊辰戦記、1868年の日々の年表が掲げられている。

**BS-TBS2018年5月7日にっぽん歴史鑑定 白虎隊の真実～会津戦争～**

会津若松城下絵図屏風放映 (株)ネクサスよりCD寄贈

## 新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

### 1・古絵図・古地図

**東京都五千分一地図索引** 内山地図模型 刊記無 九十五面を表示

**日本洋学史の研究Ⅹ大阪築港計画に関する** ヨハネス・デ・レーケの書簡明治9年

**改正函館港全図** 明治43年 鹿野忠平 小島大盛堂 銅版色刷

**札幌区全図** 札幌区役所編 富貴堂書房 明治44年

**長崎市街図** 昭和7年 貝崎環

**最新大連市街全図** 昭和12年 高橋勇八 大陸出版協会

**長命寺全図** 鳥瞰図 大阪東栄堂

**金沢市街地図附名所旧蹟遊覧案内** 刊記無 戦前

**大分市街新地図** 昭和5年 大淵善吉

**最新実測姫路市街全図** 12000分Ⅰ 昭和12年 赤西猶松

**昭和最新版松本市全図** 中嶋兵庫 昭和9年 松本市都市計画課

**石狩国夕張郡馬追原野区画図第一** 北海道庁 明治26年 25万分Ⅰ

**石狩国夕張郡馬追原野区画図第二** 北海道庁 明治26年 25万分Ⅰ

**石狩原野植民地選定概図** 北海道庁 明治26年 25万分Ⅰ

**石狩国上川郡鷹栖村区画図第一** 北海道庁 明治26年 25万分Ⅰ

**石狩国上川郡鷹栖村区画図第二** 北海道庁 明治26年 25万分Ⅰ

**北海道地図** 明治31年 林栄之助 三松堂・一二堂

**訂正実測金澤市明細図** 明治36年 山田信景

**大大垣市全図** 昭和15年 名古屋新聞社

**市区改正予定東京全図** 明治21年銅版色刷 菅谷與吉

**前橋市全図** 昭和8年 前橋市役所編纂 1万分Ⅰ

**仙台通信局管内供給区域図** 宮城県電気協会

**市制記念瀬戸現勢全図市外品野町** 5000分Ⅰ 昭和5年 裏全面広告

**蝦夷絵図** 林子平 写図

**八戸市街全図** 昭和9年 八戸毎日新聞社

**小岩井農場全図** 昭和12年 25000分Ⅰ

**舞鶴港修築計画図** 6000分Ⅰ 昭和7年検閲済舞鶴要塞司令部舞鶴要港部

**嶋原半島平面図** 長崎原田石印 5万分Ⅰ石版

**西都原略図** 宮崎秋田錦石堂石印

**嶋原町略図** 刊記無 戦前

**鹿児島案内図** 戦前刊記無 鮮明堂印刷

**青森港修築工事設計図** 戦前刊記無

**最近実測熊本市街地図** 大正13年 書画堂濱田辰次郎

**米子市全図・昭和6年米子市勢要覧** 12000分I

**昭和25年室蘭製鉄所鳥瞰図** 初三郎 富士製鉄(株) 室蘭製鉄所

**軽気球にて空中より撮影したる我帝都東京市の壮観** 明治42年 実業の日本附録

**改正松山市全図** 明治42年 岡野音弥 松山向陽社

**函館市街新全図** 大正10年 小島大盛堂

## 2・古典籍・古記録

**越後治乱記** 写本 全2冊 謙信公御先祖の事・中略・晴信公信州発向・川中島合戦の事・謙信公御逝去御家督論・御館より春日山・勝頼助勢・関東加勢・御館責・憲政公御扱の事等40条程

**乙未仙石家一乱記全** 天保6年正月於出石表宛仰渡候次第 八百石家老当時隠居酒匂□兵衛

**越境記全20巻5冊** 写本 越後国争乱記

## 3・印刷資料

## 4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

**扇面 南洲騎虎** 清水対学坊漫写

## 5・軍事資料・武器武器

## 6・城

**軍法極秘伝書第5巻城責之巻** 第一から十五まで 攻め定法之事・城責始の事・四方よりの責の事・城をまく事・仕寄付事・車竹束絵図・車セイロウ図・高ぜいろうの事・釣セイロウ図・組上セイロウ図四角・同三角図・地道の事・竹束の事・竹束の図・城廻り水の手の手・急に攻める事・城のり前の事

**日本洋学史の研究Ⅳオランダ三話** ハーグの国立中央文書館蔵大阪城絵図

**城石垣版画** 武司かつじろう 131 城不明

**麹町区詳細図** 昭和8年 植野録夫 東京地形社 宮城

**大阪城歌舞伎座公演** 大正5年 絵入引札

**城郭文献** 越後土産春日山城古図複製・上杉謙信公城趾越後春日山旧図複製・奥殿陣屋のすべて平成7年・高天神城趾概要昭和31年非売品限定1000部・興国寺城跡保存整備基本構想報告書・興国寺城跡保存管理計画報告書・国指定史跡春日山城跡保存管理計画書・史跡高取城跡保存管理計画書・史跡高天神城跡保存管理計画策定報告書・史跡八上城跡保存管理計画策定報告書・末森城等城館跡群発掘調査等報告書・史跡高知城跡整備計画・国指定史跡日野江城跡整備基本構想平成23年度・同24年度・史跡原城跡整備基本計画書・国指定史跡八王子城跡保存管理計画書過去と未来の調和を・観音寺城跡平成12年県教委・西讃の山城第1巻詫間町の山城・第2巻三野町の山城仁尾町の山城・第3巻高瀬町の山城・第4巻豊中町の山城山本町の山城・第5巻財田町の山城・史跡上田城跡保存管理計画整備基本計画ダイジェスト版平成23年度改定版・続日本100名城公式スタンプ帳・

**購入見合わせ** 長久手合戦絵巻864000円・伊賀御屋敷絵図378000円・

## 7・群馬県史料

**新撰上野国全図** 明治18年 内野健吾編 高橋常蔵・船戸鉉吉 銅版色刷

**前橋市勢要覧** 昭和3年 前橋市全図

**群馬県人著述書目** 前橋市立図書館 大正15年

## 8・その他

## あとがき

### 1・城郭文献の時代

昭和以前の城郭文献の所蔵はほぼ90パーセント以上に及び、平成以降解説書や市販書は購入を止めている。50年前は城郭文献の発行は年に数冊程度であったが、近年は新刊書店に常に100冊以上並んでいる。半数ぐらいは本当に必要な文献か疑問があるが、研究の深化による見逃せない資料も多い。結論から言えば喜ばしいが、購入は限定せざるを得ない。逆に行政の予算不足による非売品対応が極端に増えており、これらこそ、商業ベースの出版社に茹れるべきではないか。ネットに公開して良しいのか。全国の老舗古書店をほとんど回り、足で歩き、神田で段ボール一箱、新幹線で持ち帰った時代が懐かしくもある。日本唯一の城郭専門古書店である。多くの非売品の研究書も集め提供し、城郭研究者の便宜にこたえない。

### 2・平和島骨董市、古書同好会目録、日本の古本屋ネットの反響等々

九州特集で、本紙の読者からも数名の方にご来場もいただき、西南戦争資料の発注、地元新聞社さんの古地図まとめ購入、樺太、北方領土、竹島資料と希少古地図の購入、欧米の方々の錦絵購入、中国の方の台湾まとめ発注、元和慶長の稲富の砲術書、戊辰戦記木版画、南関東の職業別明細図、大量の陸軍教本類、長崎台湾琉球の江戸前期銅版画、明治初期銅版の世界地図等多くを提供した。1570年関ヶ原より前のオリテリウスのインド図日本入りや馬上火縄銃も大きな評判であったが、高額であり、購入に到らなかった。予約の江戸地図や清明上河図を提供、片や依頼されていたながら見つからなかった和田三造の木版画や江戸の小型絵図は提供出来無かった。展示会前に古書同好会目録が発行され、メール、葉書、FAXによる受注が不在により混乱した。郵便を止めていたために全容が理解できたのは6日に休日配達していただいた後であり、メールは出先で対応、留守中の未対応をお詫び、さらに大量の日本思想史大系全67冊を始めとする日本の古本屋受注梱包出荷対応、ネットの送金、荷受けと大混乱です。目録の大量の荷だし、梱包、請求、発送はこれから、ようやく骨董市の荷卸しが終了した。今回初めて、平和島での城関連の出展は全くなかった。

### 3・多くの問い合わせ、研究者との交流に感謝

目録やネットに多くに引き合い問合せをいただく、城郭研究者はほとんど存じ上げているが、各地の地図研究家、印刷技術の研究家、銃砲の研究者は未知の方が多い。目録掲載品やネット掲載品について、詳細の情報や写真を求められる。展示品についても火縄銃に32件位引き合いがあり、店頭で議論を重ねられる。返信になしのつぶてという失礼な輩もいるが、此方が知りえない詳細な情報や解説を送っていただく。印刷については永年インキメーカーに携り、印刷技術の開発に従事してきた。おかげであらゆる版式の版材や印刷見本、色見本を集めてきた。川瀬巴水の犬山城木版版木や熊本城南面図版木は白眉である。惜しむらくはスイスローザンヌで市街地図を印字された大きな石版を見つけたが、さすがにヨーロッパから持ち帰れなかった。新潟の博物館勤務の元学芸員さんからは国絵図の詳細な情報をいただき、銅版画の研究者の方からもこれまでの成果や熱意ある探究絵図について教えていただいた。生涯学習、研究の底の深さを改めて知ることになる。挑戦することがスタートであるとの言葉をかみしめている。

### 4・城の古写真

ある研究家の依頼で所蔵古写真の確認調査を試みたが、明治期に存在し、現存していない城郭建築の比定は容易ではない。古絵図と比較し、その撮影対象を定める、過去に発見されている写真は見覚えがあるが未発見の場所については詳細な検証を必要とする。江戸城7・大坂城2、若松城2、岡山城5、広島城、名古屋城6、辨天台場4、彦根城2、荘内城、岡崎城2、鶴岡城、津城、姫路城3、二条城、徳島城、丸亀城、兵庫砲台、松山城、福岡城4、熊本城3、その他都市景観。未知の古写真もあり、何れ特集で公開したい。その間、御問合せにはお答えできない。

---

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109 群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

携帯電話 090-2722-4689(しろはく)

FAX 027-315-4689(しろはく)

Eメール [shirohaku@kym.biglobe.ne.jp](mailto:shirohaku@kym.biglobe.ne.jp)

ホームページ <http://www.shirohaku.com/>

ミュージアムショップ 群馬県古書籍商組合加盟

博物館資料専門店

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴

